

# 703 NEWS 保谷なおみ

なおみニュース

西東京市議会議員 保谷なおみ 市議会報告

2023年 秋 vol.44

## 過去2番目に大きな決算額～令和4年度決算

### コロナ対策、物価高騰対策、13回の補正

毎年9月は、決算審査を行い、前年度の西東京市のお金の使い方を点検し、来年度の予算編成につなげます。

昨年度は新型コロナウイルス感染症がまだ2類相当だったため、ワクチン接種、自宅療養者支援や非接触型デジタル決済の普及などのコロナ対応、加えて、2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻に端を発した物価高対策に集中しました。13回増額補正を行い、その結果、決算額は過去2番目（1番は令和2年度で約1000億円）に大きな額となる836億8,600万円でした。財源は国や東京都に由来するものが多かったですが、お金の使い方が妥当だったかどうかの検証は必要です。

### もくじ

- ・過去2番目に大きな決算額～令和4年度決算
- ・ともにみらいにつなぐやさしさといこいの西東京
- ・どう考える？防災市民組織の倉庫
- ・保谷庁舎跡地、暫定開放
- ・近況報告～全国都市問題会議 in 八戸市

## ともにみらいにつなぐ やさしさといこいの西東京

### 第3次総合計画の基本的な方向性が決まりました！

西東京市の運営は、総合計画という基本的な指針にのっとり行われます。総合計画は、西東京市の場合、来年度令和6（2024）年度から第3次総合計画がスタートします。（令和15（2033）年度までの10年計画）

総合計画の屋台骨ともいべき基本構想は、どんなまちにしたいかという基本理念と目指すべきまちの将来像（基本目標）で構成されています。この基本構想に基づいて、総合計画が策定されるわけですが、西東京市では、総合計画

の基本的な体系までが議決対象となっており、議決対象部分である施策、施策の目標までを先出して議会で審議、可決しました。

「ともにみらいにつなぐ やさしさといこいの西東京」。これが新しい基本理念です。ちなみに10年前の第2次では、「やさしさとふれあいの西東京に暮らし、まちを楽しむ」でした。今回、未来という言葉が新たに加わり、今すでにあるレガシーを未来につなげようという姿勢が鮮明になりました。



昭和37（1962）年保谷市生れ。碧山小、ひばりが丘中学校、お茶の水女子大学附属高校、東京大学文学部卒。元学習塾講師。保護司。

平成14年、西東京市議会議員選挙初当選。第13代議長。現在、文教厚生委員会所属。後援会住所 中町4-2-18

Tel.042-453-1104 fax 042-422-0104



ホームページ

インスタグラム



ライン

# どう考える？防災市民組織の倉庫

## 倉庫の置き場所に支援を

いざという時の共助の備えとして、西東京市でも防災市民組織づくりを支援しており、町内会やマンションの管理組合などが防災市民組織を作っています。しかし、他自治体と比べ、組織率が低く、また、一つの組織が小規模なものが多いのが西東京市での特徴となっています。

その原因のひとつとして、備品を入れる倉庫の置き場所を探すのが難しいことがあると考えられます。組織が大きくなればなるほど、倉庫も大きくなります。ぜひ、市が置き場所確保のために支援すべきです。



## 保谷庁舎跡地、暫定開放

現在、保谷庁舎跡地は、「暫定の暫定」で市民開放されています。今後、この「暫定利用」をどうするかが決まります。ここは、新庁舎の建設候補地のひとつとなっており、そのため「暫定利用」となります。

令和20（2038）年に新庁舎の場所を決めるとされていることから、10数年間の利用となります。

ただし、例えばテニスコートの場合、コート表面はオールウェザータイプでは10年が法定耐用年数で、照明設備や周辺のフェンスが30年となっており、10数年間という期間でも、建て方

次第では屋外型のスポーツ施設は建設可能と考えます。



## 近況報告



10月12、13日で、青森県八戸市で開催された全国都市問題会議に参加しました。八戸市は21世紀に入った頃は中心市街地の空洞化に苦しんでいましたが、アートの力で中心市街地を再生していこうという明確なビジョンを持ち、戦略的にハコものづくりを進めた結果、みごとに中心街に人を戻すことに成功しました。西東京市に住んでいると分からない、地方都市の悩みと向き合いながら、まちづくりの新たな潮流が全国で生まれつつあることを実感しました。



八戸三社大祭の山車で記念撮影しました！  
詳しくは、保谷なおみHPで。